

## まもなく2017年です。

2016年もあとわずかとなりました。世間ではM-1グランプリ、流行語大賞、今年の漢字、クリスマスイベントなど、年末の話題が聞かれるようになりました。登校も残り1週間です。最後まで元気に学習し、今年を締めくくってほしいと思っています。

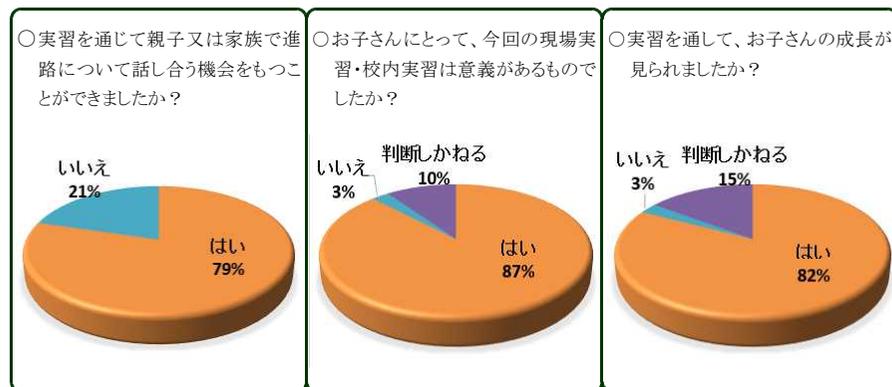
実習が終わり、2週間たちました。3年生は個々に進路面談が始まり、卒業後の進路に向けて事務手続きを始める時期となりました。進路指導部も関係機関との連絡調整で慌ただしい時期となっています。卒業後の生活に向けて準備をしっかりとしていけたらと思います。



## 実習を終えて・・・

実習を終えて、保護者の皆様からご協力いただきました。アンケートを集約いたしました。皆様が気付かれた点を見ていただき、お子さんへの参考にさせていただければと思います。

### <アンケートの集計>



※次のページから、皆様のご意見を書かせていただきました。記載した（ ）内は、同様の意見数です。



### ○お子さんの成長として気が付かれた点

- ・「もう一度行ってみたい」と話していました。
- ・現場実習の時、風邪をひいてしまったのですが、私が「具合が悪かったら休む？」と聞くと「このくらい平気、仕事だからちゃんと行かない」と答えました。その言葉に「こんなことが言えるようになったのか」と成長を感じました。
- ・現場実習によって行動がきばき動けるようになりました。
- ・仕事に向き合う気持ちをもてたようです。
- ・職員さんが関わってなくても、落ち着いていることができました。(2)
- ・自分で考えて行動しようとしていました。(2)
- ・道順を覚え一人で通うことができました。(4)
- ・危険の認知力がなかった子が、交通マナーに注意しながら歩けるようになりました。
- ・時間を見ながら、路線バスに1人で乗ることができました。(2)
- ・分からないことを自分から運転手さんに聞いてました。
- ・毎日長い距離を通勤できました。
- ・時間を意識して、早寝早起きができた等の成長が見られました。(2)
- ・相手の顔(目)を見て話すことができたこと。嫌がる様子もなく、実習できたと思います。
- ・何か頼み事をすると、今までは仕方なさそうに「ハ～イ」と言っていたのですが、最近は「はい、分かりました。」と言うようになりました。
- ・疲れて帰って来ていましたが、話を聞くと楽しげに活動を伝えてくれました。(2)
- ・毎日しっかり「働くこと」の大変さ、お金をもらう大変さ、ありがたさが分かったようでした。
- ・実習先で必要であった技術(例えば、玄関掃除、シーツ交換、布団の上げ下ろし、メイキング、茶碗洗いなど)ができないことを自分で認識することで、少しでもできるようになろうとしていました。
- ・自ら積極的に、意欲的に取り組むようになった。(4)
- ・実際の現場に行き、経験して自分なりに考える良い機会になったようでした。(2)
- ・初めは不安がっていたが、一日一日と経験を積み重ねていくうちに少しずつ慣れて自信も少しいったようです。(2)
- ・一日中仕事に集中できるようになった気がします。(3)
- ・作業でミスをして注意されても投げ出さずに取り組めた。
- ・自分でどうしたら改善されるのか、言われなくても分かるようになってきた。
- ・挨拶している姿を見た時、今まで自分からしたことないと思ったので、心の成長を感じとてもうれしかったです。(2)
- ・休憩や食事の時間を皆さんと共有することで、コミュニケーションが上手くできました。
- ・仕事の段取り等を理解する上での、コミュニケーションのとり方が勉強できたようです。



## ○うまくいった支援、難しいと感じられた支援をお聞かせ下さい。

- ・保護者送迎で実習へ行きました。実習中は、仕事に遅れないように仕度をし、本人が難しいことは手伝い、時間に遅れることなく出勤できました。
- ・実習中は長い時間仕事(作業)に集中しなくてはいけないので、児童デイサービスなどの利用はお休みし、実習に集中できるようにしました。
- ・給料の話をして、仕事をしてお金をもらわないと好きな物が買えないということが分かってくれたことです。
- ・色々な事を言っても本人も大変なのかなと思って、困ったときは話を聞いてあげました。(3)
- ・通勤(徒歩・バス)の練習をしたことで、スムーズに通えたと思います。(2)
- ・朝のバスの到着時間と入店時間に差があり、うまく時間調整ができず、実習先にご迷惑を掛けてしまいました。
- ・実習での送迎は週1回や、続いても1週間だったのでできましたが、実際に働くようになったら毎日の送迎は難しいと感じました。(2)
- ・朝「頑張ろうね」と声掛けしましたが、2日目、3日目はプレッシャーになってしまったのか自宅で落ちつかない状況がありました。様子を現場の職員さんにお知らせし、落ち着いて活動できるように対応して頂きました。
- ・仕事で帰ってきた時に、我慢したことのストレスをどうしてやればいいのか難しかったです。
- ・会社の人の言うことを良く聞いて、分からないことは「分かりません」とはっきり言いなさいと助言してきました。現場でのコミュニケーションは、かなり良好であったように思います。
- ・励ましや共感をするようにしました。(2)
- ・本人は親の送迎を期待していないのに少し天気が悪いと迎えに行ったりしたのは、過保護だったかなと思いました。
- ・見学に行きました。職場環境や仕事の内容を直接見ることで、その環境に合った服装、昼食や水筒の中身、寒さ対策などを準備できたり、仕事のスキルアップに向けて自宅で繰り返し練習できたりしました。
- ・朝、なかなか準備に取り掛かるまでに時間が掛かってしまうことが多く、家を出るときにバタバタしてしまいました。(2)
- ・親が毎日弁当作りに朝帰ってきて作って持たせていました。・食べることが好きな子なので、お弁当の中に好きなおかずを入れて、毎日励まして見送りました。



- ・職場の皆さんと少しでもお話しが出来たら良いと思い、お弁当といっしょに「皆さんと食べてね」と柿を持たせました。うまくいったかどうかは分かりませんが、食べて下さったようです。
- ・社会では、常に仕事量を求められると思いますが、一つできると次から次へと要求されたりするとやはり難しいなと思いました。その辺のお互いの理解がうまくいくと、仕事も長く続けられるとも思います。

- ・実習が2週間、3週間となった時、本人はやはり辛いと感じるのだと思います。好きな仕事、楽しいと感じられる職場が見付かるといいなと思います。
- ・実習が始まる前から、実習が始まることを意識的に何度も伝えて、早い段階で認識させ、激励し、気持ちを盛り上げて望みました。本人も始まるのを楽しみにしていました。
- ・朝起きれなかった時に、出勤のフォローができませんでした。
- ・次の日に疲れを残さないように帰宅後、夕食～お風呂をスムーズにいけるように声を掛けて、早寝を心掛けました。疲れがたまらないようにしました。(2)
- ・今回は現場に出た実習作業が多く、朝は早く、夕方は遅くて大変でした。父はこれだと言っていました。



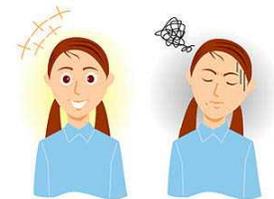
## ○保護者の方が感じたことや学んだことをお聞かせ下さい。

- ・うちの子には将来何ができるのだろうか？と、ずっと考えていました。まだまだ一人でできないことも多く、「家から離れて暮らす」ということは、まず無理だと思います。でも今回の実習で、何種類かの仕事をやらせてもらい、本人もとても意欲的に取り組み、帰ってくると楽しそうに「今日は〇〇をやったよ」と話してくれました。うちの子にも、できる仕事があることを知り、少し安心しました。
- ・今回初めて実習先を訪問して、将来そこで働く場合としてのイメージがもてました。
- ・将来の生活については、1人で自立して職場まで通えるようになっていかなければいけないことや、自分の荷物の管理ができるようになること、身辺自立など、たくさん取り組んで身に付けていかなければいけないことがあるということを感じました。
- ・実際に社会に出て現場で働くことで、その厳しさを味わうことができました。学校生活だけではイメージできないこと、集中力、持続力、忍耐力、コミュニケーション力、様々な力が不足していて、これから身に付けていかなければいけないことを痛感しました。



- ・家の中では何もみませんが、外では自分なりに少しは仕事をできるようになってきていると思ってます。いろいろなことを体験して一人で生活できるようになってほしいです。
- ・まだまだ私分からないことだらけで不安がたくさんありますが、心配するばかりでなく、子供の力を信じて伸ばしてあげることの大切さを感じました。
- ・利用者とのコミュニケーションや支援してくださる方がありがたいと思いました。
- ・良かったと思うことは、作業着も汚れどろだらけになってきても決して弱音をはきませんでした。朝食も毎朝食べ、親とその日の仕事の話をしていました。
- ・一般企業で社員さんに混ざって仕事をさせて頂いたので、卒業後も同じような雇用に恵まれたらいいなと思います。また、その際は家庭と会社の連絡が大切だと思っています。
- ・過保護なところがたくさんあるんだなと思いました。これからはもっと積極的に外へ出そうと思いました。
- ・働く周囲の環境が良い場所を選ぶことも大切な要素になると感じました。

- ・1ヶ月働いて給料をもらって生活するという大変さを実感したようです。
- ・一般就労という高いハードルを目標にしていました。(親が勝手に)でも、子供がちゃんと働ける場所(心も体も安定して働ける場所)が一番なんだと気付きました。繰り返すことが必要かと思います。時間を掛け少しずつでも生活できるように頑張ってください。
- ・単純作業以上のことがどこまでやれるかの見極めは、まだこれからのように思います。
- ・ちゃんと教えてあげると頑張ることができることが分かりました。



- ・一般就労はやはりハードルが高く、今回のように職場での支援体制のあるところでないといけないのかと実感しました。
- ・本人の力量、状況をよく理解し、協力的な職場(忙しい中でも面倒見てくれる)が増えてくれるといいなと思います。
- ・集中力がついてきて、落ち着いていられたことで、今後やっていける見通しがつきました。
- ・本当に勤めていけるのか不安になりました。
- ・1年からの実習を見ていると自分から挨拶、報告ができるようになってきました。
- ・実習先でのリズム(流れ)がしっかりと分かると落ち着いて生活できると思いました。

## ○その他

- 緊張していたためか実習先の人達に‘おはようございます’と挨拶ができていなかったり、見学者などで変化があった日などは帰宅後にパニックをおこすなどのことがありました。(はっきり分かった理由はわかりませんが…)
- 利用者さんとの人間関係はすごく難しいと思いました。
- 疲れている感じが感じられた。
- 色々な職種を経験して、たくさんの人と接することで自分も成長(思いやり等の心の成長や物事に対する考え方等…)ができると思います。少しでも興味をもった職業があれば経験するのも1つなのかもしれません。
- 次の時にはできなかったことを身に付けて、落ち着いて通えるようになってほしいと思います。
- 内履きなど用具について、事業所に合わせて準備するとよいと思いました。
- 実習場所を決定する前におよその環境の情報が欲しい(音・臭い・温度・湿度など) と思いました。
- 自分に合うことややりたいことなどとにかくたくさんの活動をさせて頂いて、積み重ねを大切に前向きに頑張っていくことを忘れずに過ごして欲しいと思います。
- 他の方々の情報も仲間同士で聞き合えると良いと思います。
- 実習先の確保、連絡、生徒の振り分けなど先生方の労力は大変なものだなと思いました。これからたくさんの会社や施設に実習に行けるよう、よろしく願います。
- 色々な所で実習させて頂いて、子供に合った職場が見付かるように、親子で頑張っていきたいと思います。
- 色々なことに挑戦して、外へ外へ向かっていく子供に育って欲しいです。
- 仕事の進め方で、初めは正確に、慣れてきたらスピードを上げること。少しずつでも前進してほしいです。
- 福祉事業所でお世話になりました。卒業生がいらっしゃったり、同じような境遇の方もいらっしゃったり、周囲のスタッフさんが、理解を示してくださっているありがたい環境なんだと感じました。仕事の内容も大切ですが、本人にとって働ける環境が良いといいなと考えました。(イライラしないで接してほしい。特性を理解してほしい。いじめないで欲しい。もちろん、本人の性格も見直すべき所は見直したいです。)
- 学校卒業後の進路について、もっと色々なものを聞いてみたい(自分の子供のレベルの卒業生の就労具合とか…)
- 終日の就労は、まだ本人にとって負担があるなあ…と感じました。
- 今回は早出、残業等あり、実際の仕事がよく学べたのではないかと思います。



・いつもそうですが、実習が終わると生活が乱れてくるところがあります。特にお風呂がとても遅くなります。声掛けはしますが、うまくいかない所です。ここを続けていかないと、「4月からまた一から…」となり、本人も大変になります。春からスムーズにいけるためにも、続けられたらと思いますし、春から社会人を頭に入れて受入先に実習の時より成長した姿を見てもらえるように卒業まで過ごしてほしいです。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

学校としてもご意見を参考にさせていただき、改善できるように取り組んでいきたいと思っています。

## ちょっと確認してみませんか？

色々なことを身に付けていく上で、「身だしなみ」についてお伝えします。

以下の表は、職業生活の授業のテキストから抜粋しました。ある企業の身だしなみ基準を参考に作成し、生徒への確認で授業で活用しています。最近の様子を見ていて、寝癖を直せない、髪をヘアピンやヘアゴムで止めていない、衣類の着脱・準備片付けに時間が掛かる等、身だしなみの様子や所作に関わることで気になることがあります。

早くから当たり前にできていると、在学中の当たり前の期間が長くなり定着しています。今一度身だしなみに関わる内容を確認してみてください。

2学期の残りの1週間チャレンジしてみたいかでしょうか？

### 身だしなみチェック(職業生活のテキストより)

男性	部分	女性
<input type="checkbox"/> 髪の毛がすっきりと整えられている。 (ヘアブラシを入れている) <input type="checkbox"/> 色は黒を基本とする。 (派手な染め、メッシュ、脱色はしない) <input type="checkbox"/> 目・耳・襟にかららない。 <input type="checkbox"/> パンチパーマ等、きついパーマをしない。	頭髮	<input type="checkbox"/> 髪の毛がすっきりと整えられている。 (ヘアブラシを入れている) <input type="checkbox"/> 色は黒を基本とする。染め、メッシュ、脱色はしない。 <input type="checkbox"/> 肩より長い場合は、ゴム・バレッタ・ヘアピン等で止める。 <input type="checkbox"/> 前髪やサイドの髪が、顔にかからないようにまとめられている。
<input type="checkbox"/> ひげのそり残しがない。 <input type="checkbox"/> 目やにがついていない。	顔	<input type="checkbox"/> 職場にふさわしいメイクを心がける。 (口紅・アイシャドウでは、黒っぽいもの白っぽいものは避ける) <input type="checkbox"/> 歯に口紅がついていない。 <input type="checkbox"/> 目やにがついていない。
<input type="checkbox"/> 短く切りそろえ、清潔である。	爪	<input type="checkbox"/> 切りそろえて、清潔である。 <input type="checkbox"/> ネイルアート、派手なマニキュアはしない。
<input type="checkbox"/> 指定された服装をする。 <input type="checkbox"/> 装飾や余計なもののはつけない。 <input type="checkbox"/> 指定された着用の仕方をする。 <input type="checkbox"/> 体にあったもの、季節にあったものを着用する。 <input type="checkbox"/> ボタンが取れたり、ほつれたりしていない。 <input type="checkbox"/> ワイシャツ(ポロシャツやTシャツ)は清潔でシミやシワがない。 <input type="checkbox"/> ネクタイはシミがなく、まっすぐ緩みなくしめている。 <input type="checkbox"/> スポンはプレスが十分にきいている。	服装	<input type="checkbox"/> 指定された服装をする。 <input type="checkbox"/> 装飾や余計なもののはつけない。 <input type="checkbox"/> 指定された着用の仕方をする。 <input type="checkbox"/> 体にあったもの、季節にあったものを着用する。 <input type="checkbox"/> ボタンが取れたり、ほつれたりしていない。 <input type="checkbox"/> ブラウス(ポロシャツやTシャツ)は清潔でシミやシワがない。 <input type="checkbox"/> スカートのミニやロングを避け、膝丈である。 <input type="checkbox"/> スカートのスリットが切れていたり、広がったりしていない。
<input type="checkbox"/> 派手な色や柄物ではない。 <input type="checkbox"/> スポーツソックスでない。 <input type="checkbox"/> 穴が開いていない。	靴下	<input type="checkbox"/> 派手な色や柄物ではない、無地のストッキングである。 <input type="checkbox"/> ストッキングは伝線していない。
<input type="checkbox"/> 黒か茶の革靴 (スニーカーやブーツではない) <input type="checkbox"/> 汚れていない、綺麗になっている <input type="checkbox"/> 傷がついていない <input type="checkbox"/> かかとが極端に減っていない。	靴	<input type="checkbox"/> 黒か茶のプレーンパンプス。 (スニーカーやブーツではない) <input type="checkbox"/> 汚れていない、綺麗になっている。 <input type="checkbox"/> 傷がついていない。 <input type="checkbox"/> かかとが極端に減っていない。
<input type="checkbox"/> 口臭・体臭が臭くない。 <input type="checkbox"/> 肩や頭にフケや埃がついていない。 <input type="checkbox"/> ピアス、ネックレス、指輪、腕輪はしない。 <input type="checkbox"/> 形が異形なメガネ、サングラス、カラーコンタクトはしない。 <input type="checkbox"/> 清潔なハンカチを持っている。	その他	<input type="checkbox"/> 体臭・口臭が臭くない。 <input type="checkbox"/> 肩や頭にフケや埃がついていない。 <input type="checkbox"/> ピアス、ネックレス、指輪、腕輪はしない。 <input type="checkbox"/> 形が異形なメガネ、サングラス、カラーコンタクトはしない。 <input type="checkbox"/> 清潔なハンカチを持っている。

新潟県立小出特別支援学校 川西分校

## 進路教室のご案内

### 1月の進路教室

時間・場所が  
変更になりました。

期 日	予定するテーマ内容
1月26日(木)	・後期実習の様子から学ぶこと ~実習の写真を通して~ ・3学期の取組と来年度の見通し ~実習時期の変更について~

<時間・場所> 10:45~12:00 視聴覚室

今回のアンケートで「学校卒業後の進路について、もっと色々なものを聞いてみたい」等、進路に対するご意見もいただきました。定期的に行っている進路教室に参加してみませんか。皆さんでいろいろな意見を出し合えればと思います。



不明な点があれば、いつでもお問い合わせください。

新潟県立小出特別支援学校川西分校

TEL 025-768-3325

FAX 025-768-3371

担当:進路指導部 細井哲明 佐藤正高

